

# 令和5年度 関係者評価の結果について

学校法人 北邦学園  
東橋いちい認定こども園

令和5年度に実施した東橋いちい認定こども園の自己評価の結果についての関係者評価の概要は次のとおりです。

## 建学の精神「自然から学ぶ」

### 1 本園の教育保育目標

◎ 思いやりのある子

◎ 考え工夫する子

◎ 明るくたくましい子

### 関係者評価の区分

A：成果を上げている。  
B：ある程度成果を上げている。  
C：もう少し努力が必要である。  
D：改善が必要である。

### 【各学年のねらい(年間)】

0歳児 保育教諭や友達と一緒に安心して過ごす中で、いろいろな遊びに興味をもつ

1歳児 保育教諭や友達と関わりながら、いろいろな遊びを楽しむ中で安心して自分の思いを表現する

2歳児 様々な遊びに興味関心をもち、自分なりに気持ちを活動や遊びに興味をもち、保育教諭や友達と関わる楽しさを感じる

3歳児 様々な遊びに興味をもち取り組んだり、自分なりに気持ちを表現しながら友達と関わったりすることを楽しむ

4歳児 いろいろな遊びや活動に興味をもち意欲的に取り組み、自分の気持ちを伝えながらクラスの友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる

5歳児 様々な活動に意欲をもち、クラスみんなで取り組む中で、自分なりに考えながら目標や見通しをもって行動することや、いろいろな友達と気持ちや考えを伝え合いながら遊びを進めることを楽しむ

自己評価	各学年のねらいに対する評価内容	関係者評価	
		評価	意見等
「A」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの年齢も概ね目標としてきた成長段階に達することができたと感じる。</li> <li>・自分なりに気持ちを伝えるという点においては、年齢を追うごとに成長した様子が感じられ、改めて人との関わりの大切さに気付きながら、保育に生かすことも出来たと感じる。</li> </ul>	「A」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢に応じた遊びなどが出来ていたと思います。</li> <li>・年齢に合った目標がしっかりと立てられており、そこに向かって各先生方が日々の保育や教育に励み、子どもたちの成長もとても感じられました。</li> </ul>

## 2 重点的に取り組んだ目標・計画について

目 標	具体的な取り組み計画	自己評価	関係者評価	
			評価	意見等
1 「遊び」の充実のための保育環境整備や質の良い玩具の提供  自己評価 「A」	<b>☆保育環境や遊具・玩具・教材などの見直しと保育の充実化に努める</b>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが5類に変更となったことにより、これまでの経験を活かしながら子どもの主体性を育むための「遊び」を見つめ直し検討する。</li> <li>また、これまでも話し合い、確認は行っているが、各年齢の成長段階に合わせて経験に繋げる大切な「遊び」と、その遊びを持続するための「環境」、や「玩具」について考え工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任と職員との月に1度行っている学年部会の中で、育ちと遊びについて話し合い、環境設定や玩具についても検討を進めてきた。</li> <li>・学園の園内研究に関しても、遊びや環境設定・玩具などの内容で、それぞれの職員が学びを深めた。また、子どもの成長発達において、遊びの重要性について学びを深めると共に保育環境の大切さに気付くことが出来た。</li> <li>・現在ある玩具の選定をしたところ、玩具としての意図や適した年齢のものなのか、検討し改めて精査した。その中で、適した物やそうでない物を見極め、子ども達の遊びがより充実するよう工夫することが出来た。今後も、適宜、保育環境や遊具・玩具の見直しを行い保育の充実化に努めたい。</li> </ul>	「 A 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分に工夫出来ていたと思います。</li> <li>・コロナ禍から、通常的生活へと環境が変わっていく中、遊具・玩具・教材の見直しまで細かい所、1つ1つに目を向けより良い環境作りをして頂けている事は素晴らしい思いとます。</li> <li>・資料を見て、大人が想定していない、子どもの自由な発想を肯定することは子どもの成長を促す上で大事なことだと感じました。</li> <li>・積極的に研修に参加をしている先生が多いのはとても素晴らしいと思います。</li> </ul>

	<p><b>☆共通の「学び」を活かす（年間受講の研修を通して）</b> 『遊びを支える保育環境 ～こどもが遊ぶ、こどもと遊ぶ～』</p> <p>*年6回の「こどものとも社オンライン研修」を昨年同様に受講する。また、今年度に関しては、コロナが5類に移行したこともあり、対面研修が増えている。しかし、勤務体制や家庭状況を踏まえた上で、誰もが参加しやすい機会を、と考えるとオンライン授業の方が個人の見解の中で気軽に受けられ、学びに繋げていけると考え進めている。研修後も、その学びを保育の中で積極的に実践し活かしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどものとも社のオンライン研修を受けたり、外部研修においてもそれぞれが時間を見つけながら積極的に参加し、自己研鑽に励む姿が見られた。</li> <li>・日々の業務と並行しての研修は、シフトの調整など工夫が必要な場面が多く見られたため今後も個々の力を高めるため援助出来るよう進めていく。</li> <li>・8月の長期休み期間を利用し、学園としての研修を行い、いちいの保育についての学びを深めた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回の研修を受講するため時間調整などは大変だと思いますが、保育の充実に向けて引き続き頑張ってください。</li> </ul>
<p>2 円滑な保護者連携の推進</p> <p>自己評価 「B」</p>	<p><b>☆連携・発信方法のさらなる工夫</b></p> <p>○コドモンの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配信物の工夫（内容の精査、改善）</li> <li>・昨年度も園からの様々な発信内容や方法を改善しながら、取り組んだが、まだ改善出来る面があったため、より伝わりやすくするための工夫と改良を重ねる。</li> </ul> <p>○ブログの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の保育の様子をお知らせするために園児限定ブログを実施している。パスワードは在園児限定としているため「個人情報の保護」やパスワードの管理は、十分に留意して行うことを徹底したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の充実化を図るため、昨年の配信物と見比べ精査した。そのため、配信が遅れることもあったので、内容に応じて、早めにお知らせ出来るよう努めたい。また、誤字脱字なども含め、ご送信がないよう今後も複数人で確認し対応を行う。</li> <li>・週1回のブログに関しても、多くの保護者の方に評価をいただいている。今後もより充実した内容となるよう意識して取り組む。</li> <li>・個人情報についても安心してどの家庭にも使用していただけたように感じる。また、保護者の方からの連絡も電話ではなく、コドモンの方が様々な場面で活用しやすいとの意見もいただいた。</li> </ul>	<p>「 B 」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コドモンがあれば一人ひとりのお便りばさみにお手紙を入れる作業がなくなり、先生たちの業務の軽減に繋がりが良いことだと思いました。</li> <li>・誤字脱字は誰にでもあることで仕方ないと思います。コドモンの良さを知ったので、もっと活用します！</li> <li>・月の予定が配信されていない月があるので、確認して配信してほしいです。</li> <li>・コドモンでのお知らせ配信で（強風の時）、内容で混乱したときがあったので、改善してほしい。急な対応で仕方ないと思いますが…。</li> <li>・情報過多のため、入園して落ち着いたら再度、使用方法（例題を含めた）を知るお手紙を配信してもらえるとより、活用しやすくなると思います。</li> </ul>

	<p><b>☆保護者参加の機会を増やす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが5類に移行したことにより、様々な機会を設けていちいの保育を体験していただくように進め、保護者の方の園理解として繋げていきたい。</li> <li>・日常保育の見学再開</li> <li>・行事のお手伝い依頼の復活</li> <li>・保育参加（マザーズ・ファザーズデイ・マザーズティチャー等）</li> </ul> <p><b>☆保護者との積極的な連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員構成が若いことから、丁寧な保護者対応を心掛けると共に、保護者理解に繋がられるような機会を設け、より開かれた園作りに努める。</li> <li>・保護者の方とのコミュニケーションを多くもつことで、保護者の声や思いに耳を傾け、改善できることや実践できることを積極的に行動し、保護者との連携を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参加の活動や行事をコロナ前と同様に再開出来たことは、改めていちいの保育を知っていただく機会へと繋がった。ただ、学園の主要的環境であるいちいの村での活動を多く取り入れられなかったため、次年度はそこを意識した保育を行っていききたい。</li> <li>・職員一人ひとりが丁寧な対応を意識していた。しかし、問合せからの返答に時間がかかり、再度ご連絡をいただくこともあった。今後はより迅速かつ丁寧な対応に努めたい。また、預かり保育などでの職員連携も意識して、丁寧な対応を意識していききたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参加などは、他の保護者の方と接することが出来るので機会がもっとあったら嬉しいです。</li> <li>・行事のお手伝いなども、家で出来ることがあれば、やりたいと思っています。</li> <li>・園ではどうやってご飯を食べているのか、どんな遊びをしているのか、日常の保育を見学したいです。</li> <li>・若い先生が多いのは話やすく良い面もありますが、ベテラン先生がいてくれることで、アドバイスを頂けるのはとてもありがたかったです。</li> <li>・保護者との連携では、伝えたことが伝わっていないことも時々あったので、必ずメモに取るなど忘れないようにしていただくと助かります。</li> <li>・コロナ前の活動が再開し、保護者の方が活動に参加する機会はとても良いと思います。</li> </ul>
<p>3 職員の働き方改革の推進</p> <p>自己評価 「B」</p>	<p><b>☆業務改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度取り組んだ「業務改善」が浸透しつつあるため、さらに働きやすさが増すように引き続き取り組む。また、管理職を含めた職員体制が昨年度から変化をしているため、職場環境の見直しを随時行う。</li> <li>・職員との面談などを細目に行い、些細な気づきや思いなどを共有できるような場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の会議や行事の打ち合わせなど、職員の勤務体制によっては、時間の調整が難しい場合もあった。そのため、より職員一人ひとりの意識と協力体制の重要性を感じた。大まかな計画は年度初めに作成した保育資料（いちいの保育・教育保育課程）があるため、会議などの目的を整理し効率的に進められるよう今後も意識していかなければいけない。</li> <li>・一人ひとりが職場の雰囲気作りを意識して努めていたように感じる。次年度については、より職員との対話や思いの共有に努めたい。また、今後についても業務改善を意識し、心身ともに健康で元気に過ごし、職務に励むことができるよう努めていききたい。</li> </ul>	<p>「 B 」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の仕事は大変なんだと今回、参加して改めて感じました。どの仕事も一緒ですが、働きやすく風通しの良い職場が一番です。そこを目指して色々取り組まれているのはとても良いことだと思います。</li> <li>・たくさんの研修や資料を学園で共有することは、色々な遊びや体験を学ぶことが出来てとても良いことだと思います。</li> <li>・食育については、色々と考えて頂き、とてもありがたいです。</li> </ul>

### ☆定期的な研修の継続

○これまでも取り組んでいる外部の方を講師とした研修「働き方改革」や「チーム力アップ」「マネジメント」を踏まえた、学園として強化したい部分や今必要としている組織作りを学ぶ。

- ・「絵本ワーク」正職員中心  
※週1回、絵本を通した20分のワーク。
- ・「管理職研修」「チームマネジメント研修」  
園長、副園長、主任、リーダー的立場の職員が参加 ※月1回、約2時間
- ・食育研修・絵本研修・新人研修など（北邦学園研修）

### ☆職員一人ひとりが「自分」を見つける

○職員一人ひとりが作成している「自己目標カード」に、「自分の得意なこと」「それをどのように活かしたいか」を記入することとした。一人ひとりが無理のない範囲で、自分の得意なことを園の職員として活かすことを意識して働くことにより、自主的な園運営への参加ができるのではないかと考えている。

・絵本ワーク研修については、当学園の職員による絵本の読み聞かせ会を行い子ども達や、保護者の方からも好評であった。また、担当した職員も大きな自信へと繋がった。今後も学びを深めていきたい。

- ・管理職研修・チームマネジメント研修・北邦学園での様々な研修においても、各園の代表としての意識をもち、それぞれの職員が自己研鑽に励むことが出来た。また、研修後も資料を全体に回覧したり、会議の場で報告するなど情報も共有することで個々の学びを現場でも反映する様子が見られ効果的であった。
- ・研修では、姉妹園見学や保育を学び合う場を設けたことも職員の大きな学びへと繋がった。
- ・食育研修については、各園の栄養士が集まり現在月1～2回ほどの会議を行っている。その中で、食材から食器選びまた、業者の選定などを検討し進めている。東橋としては、次年度から全園児が週4回の給食になるに辺りこの食を通して、食べる喜びや意欲、食への興味や健康な身体づくりに繋がるよう努めていきたいと考える。

・状況に応じて、それぞれの得意分野を活かし、保育を楽しむ姿が見られた。また、その姿を保育の中で披露することにより、子どもとの絆も深まり日々の保育への励みとなっていた。そして、保育者としての自信にも繋がっていた様に感じた。

- ・仕事をしている保護者からすると、月1回のお弁当作りは大変ではと感じましたが、子どもが喜ぶ！！から頑張ります♪
- ・食育は子どもにとってとても大事なことでと思います。また保護者の負担も増えるのであれば、そこは今後も検討してもらえたら良いと思います。
- ・色々な研修で学んだことを直ぐに自園で取り入れて実践できることはとても良いと思います。
- ・食育の面でも自宅で行ないことをやって頂けることはとても助かっています。

・職員の目標に関しては、目標カードに記入することでより、目標が明確となり、自分の得意分野を自身が把握し活かす事ができるのはとても良いと思います。

3 評価項目の達成及び取組み状況について（※各個人の自己評価チェックリストによる）

評価項目	達成及び取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等
「教育保育の計画性」について 自己評価 「B」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園で作成している「教育保育課程・指導計画」を使い、個々の成長やクラスの状態と照らし合わせながら、計画的に保育を実施するよう努めた。</li> <li>・週案や個別の指導案を基に、ねらいにあった成長発達としての援助を行えているのかを話し合う場を設けたことにより、子どもの育ちにあった援助を行い、職員間での連携も図れた。しかし、計画を立てていても、見通しをもつということまでには至らなかったため、今後も見通しもてる計画を意識して保育に努めていきたい。</li> </ul>	「 B 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導計画など書面にし、分かりやすく見直せるのはとても良いと思います。今後も見通しを持てる計画に期待をしています。</li> </ul>
「教育保育のあり方、幼児への対応」について 自己評価 「A」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児一人ひとりの育ちと発達を意識して、援助は行っていたように感じる。また、様々な研修で学んだことが、日々の保育と結び付、その学びが子どもとの向き合い方にも活かされ教育・保育の大切さや対応の重要性へと繋がった。</li> </ul>	「 A 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児一人ひとりにしっかりと耳を傾け、その子に合った援助を行っていたと思います。</li> </ul>
「保育者としての資質と能力」について 自己評価 「B」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に研修へ参加し、自身の意欲向上に努めていた。また、その意欲を損なうことの無いよう、職場環境を整え積極的な参加を促せるよう配慮した。</li> </ul>	「 A 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務の状況を考慮して、いろんな人が研修に参加できるよう、うまく調整できたと思います。</li> </ul>
「保護者への対応」について 自己評価 「C」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速で丁寧な対応を心掛けていたが、前段でもお伝えしたように対応の遅れや不備・情報の共有に欠けていたところもあったため、再度職員間での連携をとるための具体案を模索し、職員一人ひとりが真摯に対応できるよう努めていきたい。</li> </ul>	「 B 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末アンケートも含めて、十分だと思います。</li> <li>・子どもたちが沢山いる中で大変かと思いますが、少しでも遅れや不備がないようお願いしたいです。</li> </ul>

<p>「地域の自然や社会との関わり」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も、東橋小学校さんとは、多くの機会を通して楽しい交流をもつことも出来た。また、その交流が子どもたちの強い憧れと大きな成長へと繋がったため、次年度もこの経験を活かしていきたいと考える。</li> <li>・次年度も、様々な関係機関との連携を図り活動を進められるよう働きかけたい。</li> </ul>	<p>「 A 」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東橋小だけではなく、他の学校との交流もあると良いなあと思いました。</li> <li>・この状況の中で、まだ交流が、難しい所もあるかと思いますが、小学校との交流を多く持っていることはとても良いと思います。</li> </ul>
<p>「研修と研究」について</p> <p>自己評価 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研究については、『一人ひとりの自発的な遊びが継続するための環境の在り方とは』という主題のもと、子どもたちの遊び方や遊びについての興味関心について、また、遊びを継続するための必要な玩具や環境・援助について考えた。年齢に合わせたねらいは概ね達成できた。今後も引き続き更なる工夫と適切な対応を考え、保育を進めていきたい。</li> <li>・研修については、今後も保育者自身が目標をもち、より自己研鑽に励むことができるよう、職場環境を整え援助をしていきたい</li> </ul>	<p>「 A 」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これだけの忙しい中でたくさんのごことをしていただけたと思います。</li> <li>・年齢に合わせた、玩具が考えられており、子どもたちも玩具で成長を感じられていると思います。</li> </ul>

#### 4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法	関係者評価	
		評価	意見等
<p>① 保育環境の創意工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度の研究保育を活かし、子どもの成長発達に繋がる環境構成やそのための整備や工夫を考え、日常の保育に活かせるような取組みを行う。</li> <li>・様々な環境の中で、子どもたち一人ひとりが自ら考え自主的に行動できるような、保育の進め方や環境を意識する。</li> </ul>	<p>「 A 」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張ってほしいと思います。</li> <li>・今後の取組みに期待します。</li> </ul>
<p>② 発達に応じた子どもの理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な場面の中で、子ども一人ひとりの姿を受けとめ、その子ども達の育ちに合わせた援助を考え、成長へと繋げられるよう意識する。</li> <li>・報連相や職員間での連携を意識し、保育に努める。</li> </ul>	<p>「 A 」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の対応に感謝しております。</li> <li>・報連相は欠かさずお願いします。</li> </ul>
<p>③ 職員同士の連携と情報の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職が一変したことで、これまでスムーズに行なえていたことや、業務においても確認することを意識して努めた。次年度も、子どもたちはもとより、保護者の方にも安心して通っていただけるよう意識して努める。</li> </ul>	<p>「 A 」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の反省を生かして、次年度へと繋げてほしいと思います。</li> </ul>

